

輸送機器、半導体は「多忙」が30%台、 見通しは半導体が生産増、 OA機器は生産減か。

当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。なお、後半に掲載している「発注案件」の詳しい内容については、育成支援グループにお問合せください。

調査について

目的 県内主要発注企業の外注状況、下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介・あっせんの円滑化に資すること。

対象企業 岩手県内所在の発注を主とする登録企業 101社

調査方法 訪問によるヒアリング調査

調査時点 平成19年2月

コメント 製造分野別では、「その他」についてはコメント（解説）していない。

生産状況

(1) 現況

回答企業数101社の生産概況を生産品目総数279品目についてみると、「多忙」とする品目が70品目で25.1%（前年度86品目29.3%）、「適正」が145品目で52.0%（前年度132品目で44.9%）、「余力あり」が64品目で22.9%（前年度76品目25.9%）となっており、前年度と比較して「多忙」が16品目4.2ポイント減少、「適正」が13品目7.1ポイント増加、「余力あり」が12品目3.0ポイント減少している。（図-1）

これを製造分野別にみると、「多忙」は輸送機器が38.3%（前年度41.2%）で最も高く、次いで半導体が33.3%（前年度43.8%）となっている。「適正」は住宅関連が84.6%（前年度76.9%）で最も高く、次いで農林機器が78.6%（前年度53.3%）となっている。「余力あり」は通信機器が57.7%（前年度48.3%）で最も高く、次いで電気音響が36.7%（前年度57.1%）となっている。（図-2）

(2) 見通し

今後の見通しを生産品目総数279品目についてみると、「上昇」が57品目20.4%（前年度73品目24.8%）、「横ばい」が177品目63.4%（前年度161品目54.8%）、「減少」が45品目16.1%（前年度60品目20.4%）となっており、前年度と比較して「上昇」が16品目4.4ポイント減少、「横ばい」が16品目8.6ポイント増加、「減少」が15品目4.3ポイント減少している。（図-3）

これを製造分野別にみると、「上昇」は半導体が33.3%（前年度43.8%）で最も高く、次いで住宅関連が30.8%（前年度30.8%）となっている。「横ばい」は農林機器が78.6%（前年度80.0%）で最も高く、次いで一般機器が75.4%（前年度72.7%）となっている。「減少」はOA機器が38.9%（前年度28.6%）で最も高く、次いで通信機器が30.8%（前年度41.4%）となっている。（図-4）

図-1 生産品目でみる現況（合計279品目）

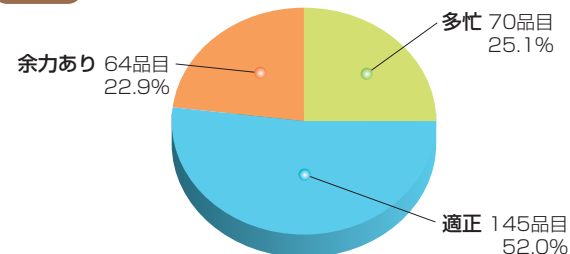


図-2 製造分野別でみる現況

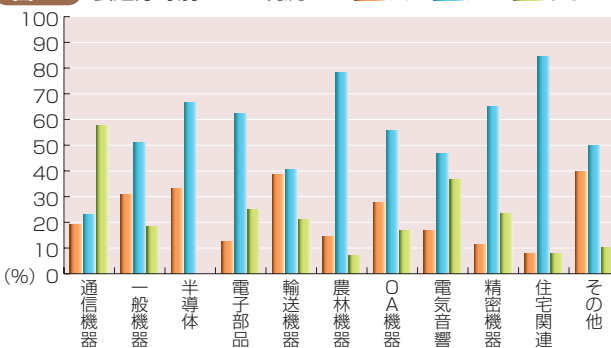


図-3 生産品目別でみる見通し（合計279品目）

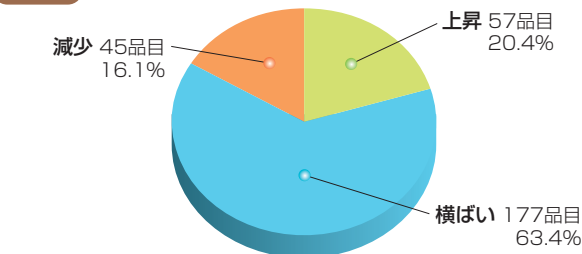
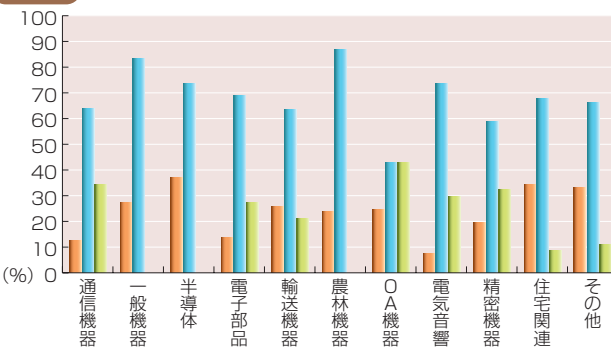


図-4 製造分野別でみる見通し



外注状況

(1) 外注企業数

回答企業101社が外注している企業数は3,249社（延べ数、以下同じ）あり、これを県内外別でみると、「県内」が1,152社で35.5%（前年度1,172社33.5%）、「県外」が2,097社で64.5%（前年度2,328社66.5%）となっており、前年度と比較して「県外」が231社2.0ポイント減少している。（図-5）

これを製造分野別にみると、一般機器が652社で最も多く、次いで精密機器が537社、輸送機器が357社となっている。

さらに県内外別で県内外注の割合が高い製造分野は、電気音響の182社52.8%、住宅関連の32社51.6%、半導体の112社47.1%となっている。

逆に県外外注の割合が高い製造分野は、精密機器の483社89.9%、通信機器の190社74.2%、OA機器の146社69.5%となっている。（図-6）

(2) 外注金額

回答企業101社の1年間での外注総額は、3,908億2,109

図-5 県内外別外注企業数（合計3,249社）

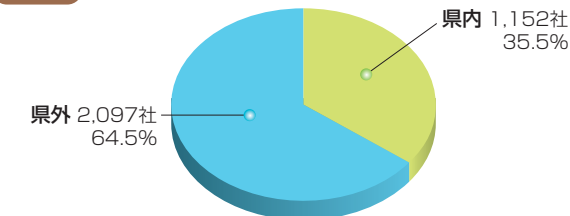


図-6 製造分野別外注企業割合

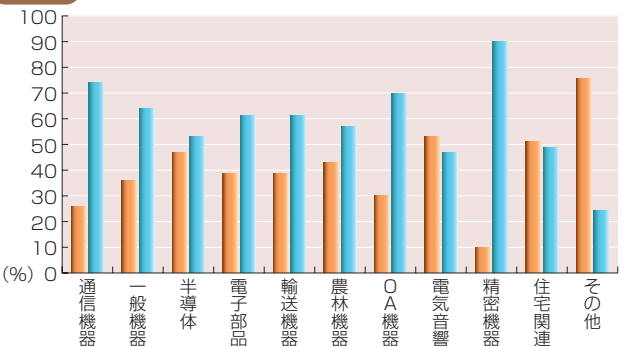
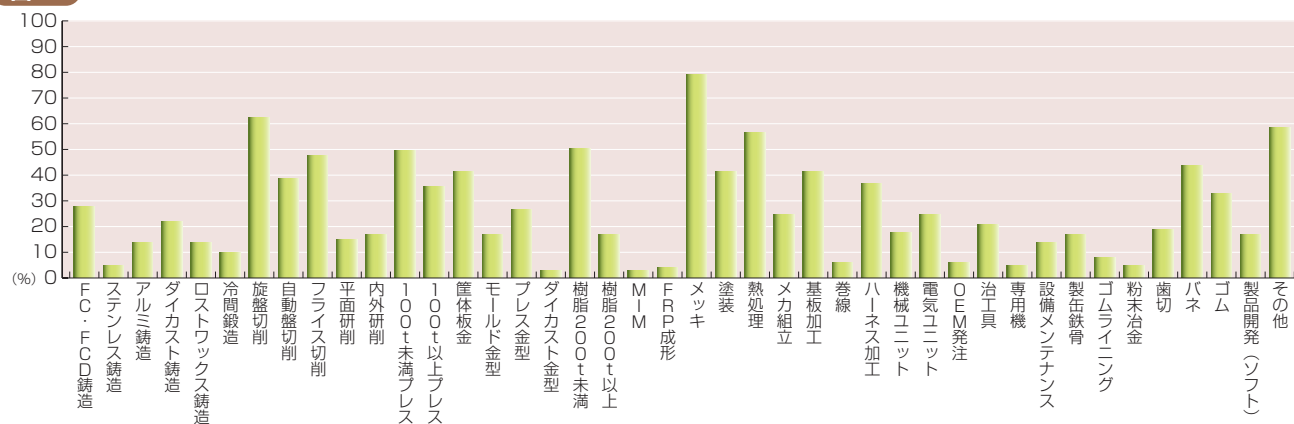


図-9 加工内容別外注割合



万円（前年度は105社で3,957億2,760万円）となっている。このうち県内外注は722億1,844万円（18.5%（前年度654億9,045万円16.5%））、県外外注は3,186億265万円（81.5%（前年度3,302億3,715万円83.5%））となっている。（図-7）

これを製造分野別にみると、県内外注は農林機器が58.1%で最も高く、次いで半導体が53.2%、住宅関連が41.9%となっている。

一方、県外外注についてみると、輸送機器が91.2%で最も高く、次いで一般機器が80.9%、電子部品が79.0%となっている。（図-8）

外注している加工内容

回答企業101社が外注している加工内容をみると、「メッキ」が80社79.2%と最も高く、次いで「旋盤切削」の63社62.4%、熱処理の57社56.4%となっている。（図-9）

これを県内外別でみると、県内は「専用機」が80.0%で最も高く、次いで「メカ組立」が76.0%、「治具」が66.7%となっている。県外は「冷間鍛造」と「ダイカスト金型」が100.0%で最も高く、次いで「ロストワックス鋳造」が85.7%、「粉末冶金」が80.0%となっている。（図-10）

図-7 県内外別外注金額（合計3,908億円）

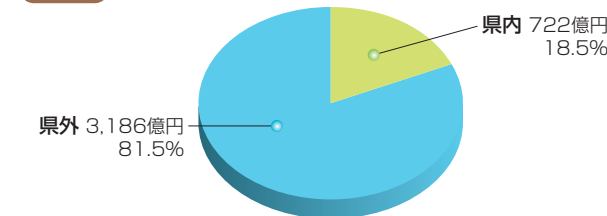


図-8 製造分野別外注金額の割合

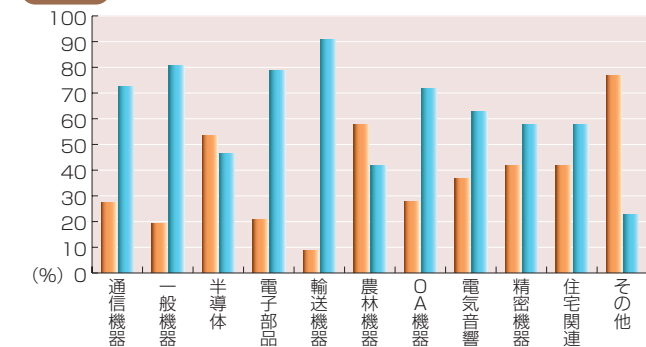
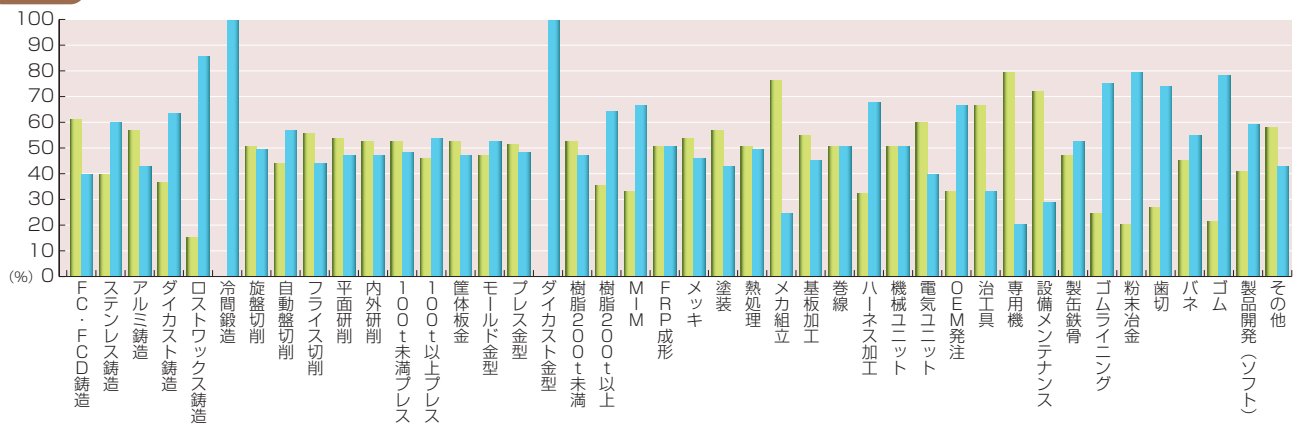


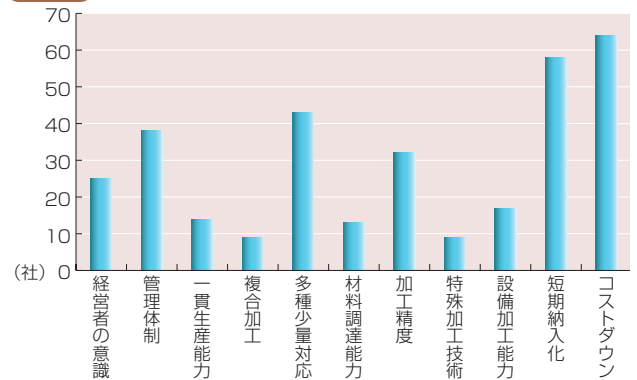
図-10 加工内容別県内外企業割合



県内外注企業に対する要望

県内発注企業の県内外注企業に対する要望は、「コストダウンへの対応力」が64社(63.4%)、「短納期化への対応力」が58社(57.4%)、「多種少量生産への対応力」43社(42.6%)、「管理体制のレベル」38社(37.6%)、「加工精度」32社(31.7%)となっている。(図-11)

図-11 外注企業に対する要望



発注案件

調査対象企業に「現在、県内企業に発注できる案件があるか」、「今後、新たに生じる発注案件があるか」について質問した結果は、次のとおりである。

(1) 現在、県内企業に発注することが可能な案件

- プレス、樹脂成形、切削
- 精密板金／計測器
- NC(自動)加工～防錆処理／スチールシャフト(メッキ)短～長尺
- スチール棒加工～塗装
- 筐体板金、100t未満プレス、旋盤切削、モールド金型、めっき、ハーネス加工、バネ、ゴム、治工具／ブリンタ
- ハーネス加工、組立加工(工場内加工作業)、部材購入
- 機械加工／金型部品
- 配線／制御盤
- 精密板金加工(抜き～曲げ～タップ～カシメ～スポット～溶接)
- 旋盤加工、フライス加工
- MC加工／空気圧機器
- 板金フレーム、真空配管
- タレパン、プレスプレーキ、制御盤
- プレス、モールド、金型、メッキ／コネクタ
- フライス切削、円筒研磨／印刷機部品
- 丸物の切削・研磨／金型部品
- 旋盤、フライス、穴明け、研削／ピン、シャフト

- メッキ、切削加工、研磨加工等、各種表面処理／ピストンリング
- MC加工／アルミ長尺物(1m20cm)
- 板金塗装、組立配線／制御盤
- 電解研磨、平面研削(タングステン材)、ワイヤー放電加工(大型300×500以上など)
- 切削、熱処理、研削、放電(WED含む)一貫での加工／金型部品
- 特殊内外研削加工／NC旋盤部品
- パフ研磨
- 鋳物機械加工
- SMT～ASSY工程の加工／基板組立
- 切削部品加工、板金加工、製缶加工／半導体・液晶用部品

(2) 今後、新たに生じる発注案件

- 樹脂成形200t未満／ワイヤーハーネス用自動車部品、精密コネクタ
- 電気工事(工場内設備配線)
- 大型板金部材加工(板厚0.8～12mm)
- MC加工／空気圧機器
- 基板組立、ユニット組立、検査／検査装置
- SMT～ASSY工程の加工／基板組立
- 溶接、設計、組立／産業用製造装置

お問い合わせ先 育成支援グループ TEL 019-631-3822 FAX 019-631-3830
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/> E-mail sitauke@joho-iwate.or.jp